

④ めまた 市議会だより

第59号

9月定例会

令和2年
11月1日



子どもたちに
おいしい給食を



新しい沼田へ

内容 令和元年度決算
9月定例会 など



沼田市議会HP

〇〇に注目!!

令和元年度決算

注目!! 子どもの安全

・市内全小中学校普通教室にエアコン設置

近年の災害ともいえる猛暑を受け、熱中症等による健康被害を防止するため、市内全小中学校の普通教室に冷房設備を整備しました。国の補助金を活用した今回の設置は、議会からも、かねての要望実現となりました。



・通学路に防犯カメラを設置

登下校時の子どもの安全を守るため、通学路に防犯カメラ50基を設置。安全確保と犯罪防止を図りました。

近年課題となっていた公共スペースのプライバシー保護とのバランスも留意され、セキュリティが確保されています。



注目!! 交通対策

・市道国立病院下原線交差点改良

交通量が多く、変則的な交差点形状となっており交通渋滞や事故を招いている状況であったため、地域からの改良を望む声もありました。今回の工事により、交通渋滞緩和と、道路利用者の安全性の確保や利便性の向上を図りました。



・市道万部鍛冶屋2号線改良

県道平川横塚線と国道120号間の市道で、久屋原町地内の大型商業施設などの出店により近年通行車両が急増し、幅員が狭小で通行に支障を来しているため、道路拡幅改良工事を実施し、通行の安全性や利便性の向上を図りました。



予算審査特別委員会

特別委員会は、令和元年度決算関連議案2件を審査することを目的として、正副委員長にそれぞれ永井敏博議員、島田康弘議員を選出して、延べ4日間に渡り審査しました。

審査において、主要な施策に対して予算がどう活かされたのか、事業の進み具合はどうだったのかなど、延べ29人が155件の質疑を行いました。

主に、「沼田市ファシリタマネジメント政策に関する民間提案制度」、「創業支援事業」、「鳥獣対策事業」、「橋りょう維持補修事業」、「中央公民館事業」、「(仮称)奈良古墳公園予定地管理事業」など多くの重要事業について質疑されました。

採決の結果、いずれも原案可決及び認定すべきものと決しました。

注目!! 歴史資料館

・歴史資料館オープン

令和元年5月開館以来、「天空の城下町 沼田の歴史をたどる」をテーマに、常設展示を設置。大河ドラマに合わせた特別展「沼田藩土岐氏と明智光秀」や企画展、講座や夏休み子ども体験教室などを開催。1万人以上が来場しました。



注目!! まちなか整備

・中心市街地土地区画整理

2街区(上之町)の建物移転補償などを中心に事業が進み、上之町に、県指定重要文化財旧沼田貯蓄銀行や生方記念文庫、旧土岐家住宅洋館など文化施設が集約されました。今後、歴史的な建造物を核とした大正ロマンのまちづくりが進められます。



注目!! スポーツ振興

・利南運動公園が完成

野球場やテニスコートなどの有料公園施設のほか、ウォーキングコースなどを備える都市公園として完成しました。野球場、テニスコートはネーミングライツにより、「クライムスタジアムぬまた」「クライムテニスコートぬまた」となりました。



注目!! 新しい給食

・新給食センターが完成

令和元年度に建設が進められた沼田市給食センターでは、利根沼田産米を使用し、精米から炊飯まで行うことができる全国初の施設です。これからも、子どもたちにおいしい給食が届けられるよう、さらなる地産地消の推進と地元産食材の活用が期待されます。



決算に反対 (一部抜粋)

保育料の無償化は「主食費」の有料化継続は仕方ないとしても、せめて追加となる「副食費」は無料にすべきでした。子どもや若者が減少していくまちには将来はありません。建物や施設が新しくなっても少子化は止まりません。ハードからソフトへの転換は、少子化対策のための「子育て支援」にこそ、力を注ぐべきであったと考えます。

決算に賛成 (一部抜粋)

「明日の沼田をつくる元気みらい創造予算」として、「選択と集中」により、前年度に引き続き、新給食センター整備などの合併特例債を最大限に活用した大規模事業の展開から、幼児教育・保育の無償化の先行実施、海外販路促進事業の開始などといった「ハードからソフトへの転換」が図られながら、確実に執行されたものと認め、大いに評価します。

9月 定例会

9月定例会は、9月1日に開会し、9月23日までの23日間、市当局からの報告、令和元年度決算認定、令和2年度補正予算、条例の制定・改正、教育委員の任命同意など計28件と、議会からの請願2件、意見書3件を審議しました。また、12人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

コロナ対策に6億9千万円 の専決補正

新型コロナウイルス感染症対策のため緊急に措置しなければならぬものに限定し、既決の歳入歳出予算の総額に6億9,383万3千円を追加する補正予算を専決処分したことが報告されました。

主な内容は、ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業、保育園や学童保育所及び介護施設事業者への支援金給付、医療従事者及び医療機関への支援金給付、消費活性化事業や地場産品販売支援に要する経費などです。

旧基督教団沼田教会記念会 堂設置と管理に関する条例

移築される建物の公開・活用を行うため、設置及び管理に関する条例の制定が全会一致により可決されました。

令和2年度9月補正予算

今回の補正予算は、国県支出金の確定、制度改正などによるもの、緊急に措置しなければならぬもの、人事異動に伴う人件費及び普通交付税の決定に伴う財源措置など、総額7億3,824万7千円の追加を議決しました。

人件費以外の主な歳出の内容は、新型コロナウイルス感染症対策として、予防費で新型コロナウイルス感染症対策補助金の追加、経済対策事業として地域通貨発行に係る費用の追加などです。

また、その他として、生活困窮者自立支援事業による住居確保給付金の追加、中心市街地土地区画整理事業で物件補償費、3・3・1環状線(第1期〜第4期)事業で土地購入費の追加、橋り

よう補修事業の追加、議員報酬の減額、イベント開催の中止による経費の減額などです。

歳入では、たんばら東急リゾート株式会社からの200万円の利子及び配当金の追加などです。

追加補正予算

本市にゆかりの深い久米家の住宅である旧久米邸(東京都渋谷区)を移築するため、解体にかかる建物調査及び解体工事に要する費用952万円を追加する補正予算が提出され、議決しました。



旧久米邸(東京都渋谷区)

条例の一部改正

テラス沼田1階の多目的スペースの供用開始と保健福祉センターの会議室等の貸出にあたり、利用者の利便性を図るための使用料等について規定する条例の他、新型コロナウイルス感染症対策に関連する改正など、計9件の条例改正を議決しました。

議会改革特別委員会

中間報告(要旨)

大勢を占めた意見では、常任委員会については、3委員会を維持し、また少なくとも6人の委員定数を確保、議長についても常任委員会に所属させるべきといったもので、この体制を維持するための最小限の議会構成を考えた場合、本市の議員定数の適正数は、18人であると結論づけられる。

この結論は、本委員会においては、全会一致の決定を得るには至らなかった。議員定数は、市民の多様な意見を、より正確に反映させることができる規模が必要、また、面積の広大な本市にとって、各地区の意見や要望を市政に反映させる必要がある。これらの意見は、今後の本市を含む地方議会における課題を的確に指摘したものである。

※議員定数及び常任委員・委員会数の適正化について、12月定例会において、条例の一部改正案を上程し、審議する予定です。

コロナ関連の意見書を採択

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書(要旨)

新型コロナウイルス感染症の影響が地域経済にも大きく、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっており、地方財政はこれまでにない厳しい状況に陥ることが予想されます。国において令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け確実に実現されるよう国に要望するものです。

頻発する自然災害や新型コロナウイルス感染症を含めた地方財政の充実・強化を求める意見書(要旨)

新型コロナウイルス感染症対策や近年多発している大規模災害のため、緊急な対応を要する課題に直面しています。地方の財政需要に対応するためには、さらなる地方財政の充実・強化が求められています。歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、国に要望するものです。

(仮称)沼田市武道場新築工事 請負契約を締結

(仮称)沼田市武道場の新築工事(建築工事)の請負契約の締結について、議決しました。

沼田公園内の老朽化した沼田武道場及び沼田小学校講堂記念体育館の代替施設として、今年度から令和3年度にわたり整備されます。



老朽化した沼田武道場

人事案件

- ・教育委員の任命(同意)
中村 春夫
- ・公平委員の選任(同意)
齋藤 隆(再任)
- ・人権擁護委員の推薦(諮問)
中嶋 歩積(再任)
吉野 敏弘(再任)
北原 君子(再任)

常任委員会

2件の請願を採択

総務文教常任委員会、経済建設常任委員会で2件の請願の審査を行いました。

「日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書」の提出を求める請願書について、総務文教常任委員会で審査した結果、戦後75年が経過し戦後レジームからの脱却が必要、国が国民を守る必要があるなどの意見があり、本会議において国に意見書を提出することを採択しました。

栗原川林道の再開通及び継続管理を求める請願について、経済建設常任委員会で審査した結果、全面閉鎖された栗原川林道は、日本百名山の一つとして数えられる皇海山登山の主要なアクセス道路であり、即時の再開通は困難であるが、安全な再開通に向けて国など上位の官公庁への整備の要望や入山者の制限等、再開通に向けた努力は、継続して行われるべきとの意見が多数を占め、本会議において採択しました。

令和元年度 政務活動費収支報告

(令和元年6月1日～令和2年3月31日)

会 派 名	人数	交付額	支出額	戻入額
日本共産党沼田市議団	2人	200,000円	200,000円	0円
沼田創生会	7人	700,000円	700,000円	0円
新政同志会	7人	700,000円	700,000円	0円
星野妙子(会派外議員)	1人	未申請		
金子浩隆(会派外議員)	1人	100,000円	75,265円	24,735円
高柳勝巳(会派外議員)	1人	未申請		
井上 弘(会派外議員)	1人	100,000円	100,000円	0円

※ホームページで会派別に支出明細、領収書写、視察報告等のデータを公開しています。

一般質問

沼田市への移住促進と新たな観光計画

桑原 敏彦



【Q】新型コロナウイルス感染症により、生活のあり方が大きく変わろうとしています。都会からの移住を希望している方々や企業に対し、積極的な情報発信をしていくべきです。沼田市への移住、二地域居住の拡充について伺います。

【A】地域資源などを活用した体験ツアーや、首都圏での移住相談会への参加により、移住や二地域居住促進に取り組んでいます。直接対面することなく相談業務を行うことができる「オンライン移住相談」の準備を進めており、従来の施策と組み合わせ、さらに事業の推進を図っていきたいと考えています。

【Q】長引くコロナ感染症の影響から観光業等が一日も早く正常な経営に戻るために、観光協会、旅行会社、宿泊施設、飲食店、物産店が連携する地域観光の総合商品化が求められます。新たな提案を打ち出し、実現するための組織強化について伺います。

【A】厳しい経営状況から元に戻すためにも、提案のような観光協会や関係事業者が連携し、コロナ時代に対応した、新しい発想による取り組みや強化が必要になってくると考えています。

【Q】おもてなしの心を持った3密ガイドラインを旅館等に配布、発信することは、市を訪れる方の安心感と信頼に繋がります。市独自のおもてなしガイドラインの作成について伺います。

【A】本市においても「Withコロナ」の時代に対応し、コロナ対策を行っている事業者に対し、お店に貼っていただくポスターを配布し、消費者の信頼性の確保などを図っています。提案の市独自のおもてなしガイドラインの作成については、今後、研究していきたいと考えています。



市内店舗にポスターを配布

新型コロナウイルス感染症第2波への対応

高柳 勝巳



【Q】3月以降の保育園・学童保育の縮減や自粛などの利用増減実態と事業者負担増への支援策について、お聞かせください。

また、保育園の感染症対策として自粛を依頼したと聞いています。利用者へは少なからず負担を強い訳ですので、何らかの支援が必要と考えますが、考えをお聞かせください。

【A】市からの4月17日から5月31日までの登園自粛要請期間には、ほぼ園児全員の延べ2,703名の登園自粛協力があり、学童クラブでも延べ853名の利用自粛協力がありました。

事業者への支援策では、必要な備品や消耗品の購入のための補助と、市の備蓄品や寄附によるマスク・消毒液等の配付を行いました。また、国の医療従事者等への慰労金の対象とならなかった保育園・認定こども園・学童クラブの勤務者に対して、市独自に一人5万円の慰労金の給付を行っています。

利用者への支援では、登園自粛日数を考慮し、保育料や副食費等の減免・助成を行いました。

【Q】高齢者福祉の現場でも、病院と同様の福祉サービスを、コロナ対策を採りながら懸命に提供し続けていただいています。報道等によれば、濃厚接触となりやすいサービスが大幅に利用減少しているとのことですが、経営支援について伺います。

【A】介護サービス提供事業者等の感染予防への取り組みもあり、これまでのところ施設利用者への新型コロナウイルス感染はなく、利用減少を最小限に食い止めながら業務継続が図られています。引き続き県と連携を図りながら必要な支援を講じていきたいと考えています。



市政を問う!!

テラス沼田の活用と自然環境を生かした観光

山宮 敏夫



Qテラス沼田について、建設計画当初から現在に至る庁舎以外の活用と今後の一階部分の活用計画について伺います。

Aテラス沼田は複合施設として改修計画を行い、現在は一階にテナント及び福祉施設、二階にF M I O Z Eや歴史資料館、五階から七階は福祉団体、市民活動センターや各種団体事務所として活用されています。一階西側スペースを文化活動やイベントが行える多目的スペースとして整備し、活用していく計画です。

Q自然環境・森林資源の観光活用について、アクティビティ施設整備、地域連携による誘客や登山・ハイキングルート活用について伺います。

A本市では、民間主導による、スキー場やラフティング、玉原高原での観察会その他、市がPRを行うハイキングや山登りガイドがあります。市独自のアクティビティ施設整備計画はありま



谷川連峰万太郎山

せんで、既存施設利用のPRなどを図っていききたいと考えています。広域観光については、関係機関と連携し誘客を図っていききたいと考えています。河岸段丘と山並みの眺望など地域資源の魅力を高め、利根沼田地域連携でどのように活用できるか研究を進めていきたいと考えています。

Q観光面での自然保護について、玉原湿原の観光活用と保全について伺います。

A貴重な自然を楽しんでいただけるよう整備しています。今後専門研究機関や団体と連携し、保全に努めていきたいと考えています。

安全な市民生活を築くために

高山 敏也



Q熱中症予防対策について、①今夏の高齢者、生活困窮者世帯の熱中症発生状況、②エアコン設置助成について伺います。

A①救急搬送の件数は23件、うち65歳以上は12件でした。②設置助成は、導入に向けて研究していききたいと考えています。

Q新型コロナウイルス感染症対策について、①発症状況と対応、②医療体制の現状と支援、③感染者判明時の対応、④感染者、発生場所に対する支援、⑤医療・介護・保育関係者等に対するPCR検査の導入、⑥市民への情報提供、⑦市独自の貸付制度の創設、勤労者向け融資制度の条件変更、⑧プレミアム商品券の発行について伺います。

A①利根沼田管内では8月26日までで13件の感染者を確認。市、医療機関、警察などで組織する地域対策連絡会議で情報共有します。②感染症指定医療機関と他の病院が連携、発熱外来センターも受診枠を増やし、医療体

制を継続。市の支援は、物資提供、補助金、慰労金給付などを実施しています。③発生時は、利根沼田保健所から連絡が入りますが、非公表希望が多く、情報提供に苦慮しています。④入院調整や除菌等の依頼は、利根沼田保健所がします。⑤検査拡充は、国などの動向を注視したいと考えています。⑥ホームページ、広報の他、ホッとメールや群馬テレビデータ放送、FM放送などを活用し、情報提供を行いたいと考えています。⑦市では貸付制度は検討していません。勤労者生活資金の条件変更は、状況に応じて検討していききたいと考えています。⑧10月の1カ月間Paypayと連携したキャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンを実施します。



一般質問

コロナ不況から市内経済と市民生活を守れ！

井之川 博幸



コロナ感染拡大防止対策と災害への備えは

星野 妙子



【Q】消費税10パーセントの増税から今年7月までの市内の不況の影響はどのような状況でしょうか。

【A】コロナ禍の影響は幅広い業種へ拡大しており、影響も甚大であると認識しています。

【Q】不況対策のさらなる強化策について伺います。

【A】経営振興資金」の利子補給優遇措置を年度末まで延長、10月1日からのPayPayと連携した「キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン」、「Withコロナチャレンジ支援金」の予算枠拡大などを実施します。また「地域通貨発行事業」は、キャッシュレス決済の普及と地域内消費の増加を目的に、12月からの実証実験開始を予定しています。

【Q】雇用調整助成金の特例措置などの緊急対策措置の期限延長、また、特別定額給付金、学生支援緊急給付金などの再度の給付と内容の拡充について伺います。

【A】雇用調整助成金の特例措置は、12月末まで延長すると政府の方針が示されています。また、特別定額給付金、学生支援緊急給付金の再度の給付や内容の拡充については、国の施策であるため、動向を注視していきたいと考えています。

【Q】景気対策として消費税10パーセントを5パーセントに減税することについて伺います。

【A】国の動向を注視していきたいと考えています。

【Q】中小建築業者への景気対策として、住宅リフォーム助成制度の他自治体での実施状況と本市での創設について伺います。

【A】県内19の市町村が実施しています。経済施策の検討は、景気の動向を注視しながら、慎重に進めていきたいと考えています。



withコロナチャレンジ支援金を活用した空気清浄機が設置されている市内の店舗

【Q】群馬県の新・総合計画案に対して、高齢者に対するICT（情報通信技術）の底上げについて発言した見解を伺います。

【A】ICTの進展と県政におけるデジタル化の推進にあたり、年齢や機器等に対する習熟度により、サービスに差が生じることなく恩恵を享受できる取り組みを要望したものです。

【Q】市職員がコロナウイルスに感染した場合に、市役所の業務機能を維持するための沼田市業務継続計画（BCP）の作成状況について伺います。

【A】市職員が感染した場合でも、市民生活に必要な行政サービスを提供することは、行政の使命です。大規模災害時と感染症に対応した業務継続計画の作成を進めていきたいと考えています。

【Q】沼田市地域防災計画に追加された女性目線と活用を加えた項目とその周知について伺います。

【A】男女のニーズの違いや双方の視点に配慮し、就寝スペース、授

乳室や更衣室の確保、避難所生活の安全などを明記し、市ホームページへの掲載と、防災訓練や防災講座を活用した周知を図っていきたくと考えています。

【Q】コロナウイルス感染予防に対応した新たな避難所運営や、段ボール組み立て式間仕切り「カミカベ」の設置方法をどのように市民へ情報共有し、訓練を実施していくのか伺います。

【A】先般、避難所開設に係わる職員を対象に訓練を行いました。市民へは防災出前講座等により避難所運営訓練を行い、周知を図っていきたくと考えています。



段ボール組み立て式間仕切り「カミカベ」設置訓練

市政を問う!!

若者の支援や観光問題、快適な住環境の創出

中村 浩二



Q結婚支援について伺います。

A群馬県の地域少子化対策重点推進交付金を活用して、地域全体で若い世代の結婚を応援する事業「ハッピープロジェクト事業（地域で見守る縁結び）」を実施しています。

Q妊娠・出産・子育て情報交換の場・仕組みづくりについて伺います。

A妊娠・出産・子育てに悩むお母さん方が気軽に参加でき、情報交換ができる場所の提供や、本市の「子育てコンシェルジュ」や「つばみサポート事業支援員」も出向いて相談に応じています。

Q子育て世代包括支援センター整備について伺います。

Aテラス沼田3階にて母子保健コーディネーターや子育てコンシェルジュが妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談に応じ、支援の充実を図っています。

Q観光受け入れ窓口体制の強化について伺います。

Aコロナ渦の影響が続く中、感



随時募集の市営住宅多那団地

染拡大防止を図りながら安全にお客様を迎えられるよう、引き続き観光協会と連携し、受け入れ体制の強化を図り、本市の魅力発信と地域経済の活性化に取り組んでいきたいと考えています。

Q沼田市営住宅長寿命化計画に基づく事業の推進について伺います。

A人口減少から導き出された将来の需要予測を目標に、耐用年数を経過した住宅は徐々に除去、耐用年数未満の住宅は予防保全的に定期的な点検、改修を行い、安全で快適な住宅を供給していきたいと考えています。

コロナ後の命を守る安全対策を

井上 弘



Q新型インフルエンザ等対策行動計画の検証・見直しの状況はどうなっているのか伺います。

A組織体制は、本部長や健康危機管理部門の構成員の見直しを図りました。現在、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、随時、緊急に取り組んでいる業務なども、検証後、計画に入れ込んでいきたいと考えています。

Q避難所運営には様々な物資が必要となります。乳児から高齢者まであらゆる年齢層の避難を想定して準備していく必要があります。避難所備蓄品の状況と備蓄以外の物資調達方法はどうか伺います。

Aアルファ米、飲料水、粉ミルクなど、1万2千食を目標に市内11か所に備蓄しています。また、コロナウイルス感染症対策として、マスク、アルコールジェル、除菌スプレーなどを備蓄しています。備蓄以外の物資調達は、自治体間の相互援助協定や民間企業との協定に基づき、調達を図

ることとしています。

Qコロナ対策と熱中症対策、子どもたちの命を守るためにどちらもおおそかにはできません。学校でのコロナ対策と熱中症対策の両立にどう取り組んでいるか教育長に伺います。

A気温・湿度や暑さ指数が高いときには、児童生徒にマスクを外すよう指導したり、エアコン使用時にも換気を行ったりしています。また、屋外の活動において、児童生徒の間隔を十分にとり、日陰でこまめに休憩や水分補給を行うなど各学校で工夫して取り組んでいます。

※その他の質問：業務継続計画、高齢者の熱中症対策など



小学校の体育学習発表会

一般質問

新型コロナウイルス感染症禍から市民を守る

金子 浩隆



【Q】1年前の9月議会。「平成28年作成の沼田市防災マップ。避難所一覧のページに令和元年完成のテラス沼田はありません。このページだけでも情報更新しては」と質問しました。

「金子議員おっしゃる通りでございます。なるべく最新の情報を載せるよう努力してまいりたいと考えております」が市長答弁でした。

続く12月議会。「沼田市防災マップ。9月議会の約束はどうなっているか」質問しました。

「現在、担当課で作成中であります」との答弁でした。

先の6月議会では「今、準備をしている最中です」との答弁。

丸一年が経ちましたが、一体どうなっているのでしょうか。

【A】現在、防災マップの改定を行っているところとあります。

改訂版を全戸に配布するとともに、防災講座等において周知し、避難誘導に役立てていただきたいと考えています。



(仮称)沼田市武道場建設予定地

【Q】新型コロナウイルス感染症対策のため、不要不急の予算の振り分けが必要であり、どうしても今年度中に執行すべき事業以外は、節約、中止、延期など見直しをしなければなりません。

「武道場整備事業」は総事業費約8億4千万円の大事業です。事業の進捗状況と今後の予定を教育長に伺います。

【A】着工に向けて入札等の手続きを行っているところとあります。建築工事については、請負契約締結議案を本議会に追加議案として上程を予定しています。

令和3年度中の完成を見据え、例規の整備や運用等の検討を行っていきたくと考えています。

新型コロナウイルス対策、防災対策、学校教育

大東 宣之



【Q】医療機関、高齢者施設、学校、保育園等でのPCR検査の拡充についてどのように考え、対応するのか伺います。

【A】不必要に検査を実施することは、医療機関や検査機関の負担増加につながるようになります。クラスター発生や感染拡大が懸念される場合に必要性を判断し、速やかに検査が実施できることが重要で、県や医療機関と調整し、必要な体制を整えていきたくと考えています。

【Q】感染者等への差別を防ぎ、どのように対応をしていくのか伺います。

【A】本市では、市ホームページやFM放送、保育園や商工会議所等を通じ、誹謗中傷や噂の拡散などを控え、正しい情報に基づいた冷静な行動、地域の秩序を維持していただくようお願いしております。今後も市民に広く呼びかけていきたくと考えています。

【Q】避難時の対応と避難所運営をどのように進めるのか伺います。

【A】災害初動時は、市職員、施設管理者、自主防災会が協力・連携し、避難所を運営することを想定しています。避難所生活の中期化が見込まれる場合は、自主防災会を中心とした自主的な運営が避難所生活の質の向上につながるかと考えていますので、自主防災会等との連携を図っていきたくと考えています。

【Q】少人数学級の実施や教職員の増加についてどのような検討がされているのか教育長に伺います。

【A】現在、半数程度の学校に学習指導員が配置されています。今後は、早急に全小中学校に学習指導員を配置し、次年度に向けて、国や県の動向を見据え、学校に対してどのような人的支援ができるのか検討していきたくと考えています。



市政を問う!!

より良質な政策実施のための方策を

島田 康弘



Q今般実施のクラウドファンディング型ふるさと納税とその組織的・広報的課題を伺います。

A目標未達ながら、500万円を超える寄附をいただきました。組織的には、経済部と総務部が部局を越えて、ウイズ・コロナ・プロジェクトに全庁を挙げ取り組んでいます。広報面では、ふるさと納税ポータルサイト、市ホームページやSNS、広報ぬまなどで内外に発信し、準市民へも案内しています。

Qふるさと納税の返礼品として公共施設や空き家の活用について伺います。

A今後も返礼品の充実に向けて多様なメニューを検討する必要があります。公共施設や空き家の活用については、施設の状態や効果等を検証し、ふるさと納税制度の適切な運用に努めていきたいと考えています。

Q介護福祉業務従事者の処遇改善の努力について伺います。

A処遇改善加算の取得により介

護職員等の賃金改善が見込まれます。事業者への加算要件の周知と併せ、相談支援を引き続き行っていくと考えています。

Q中央公民館除却の各団体への説明について教育長に伺います。

A4月以降、公民館利用者の会などで説明を行ったほか、全利用団体に文書説明し、必要に応じて直接話を伺いながら、テラス沼田などで現在同様に活動ができるよう対応を進めています。

Q放課後の時間帯に高校生を小学生的チューターとする制度の活用について教育長に伺います。

A就職や進学が決まった3年生に教職員の補助的な活動をお願いしています。放課後の時間帯ではないですが、上毛かるた大会などでチューターとして活躍いただいています。引き続き研究していくと考えています。



クラウドファンディング型ふるさと納税

沼田市経済の成長戦略

星野 佐善太



Q経済分野における森林を利用したイメージ戦略について伺います。

A令和元年度より森林所有者の意向確認を行い、経営管理権集積計画の策定に向けて作業を進めているところです。森林経営管理制度により森林整備を実施することで、林業の持続的発展が図られ、荒廃する森林の抑制につながるかと考えています。また、生まれた赤ちゃんに地産地消の木製玩具を誕生祝い品としてプレゼントするウッズスタート事業を進めています。

Q災害及び地域活性化への地産地消エネルギー（バイオマスエネルギー）の活用について、現在までの検討状況と今後の活用について伺います。

A平成28年度に沼田市再生可能エネルギー導入方針を策定し、様々な再生可能エネルギー活用の検討を行ってきました。バイオマスエネルギー資源は、森林に囲まれ豊富な森林資源と野菜

や果樹を中心とした農業や畜産も盛んであるため、様々な利用が考えられます。それらの中で、木質バイオマスを利用した発電事業については、本市が検討を行った時点では、周辺地域において既にいくつかの発電施設の建設や計画があり、燃料となる資源の安定的な確保等を考慮した結果、現在のところ、導入、事業化に至っていません。また、熱エネルギーとして、木質ペレットについては公共施設への導入、廃棄物バイオマスについては、焼却施設での活用の可能性を検討しました。今後は、日々技術革新も進んでいることから、新たな技術や機器等の情報収集を行い、導入の可能性について更なる調査研究を行っていくと考えています。



玉原高原のブナ林

行政調査

報告

総務文教常任委員会

令和元年10月28日～30日、兵庫県西脇市、和歌山県海南市、香川県高松市において、**自治基本条例、国土強靱化地域計画、不登校Q&A**をテーマに行政調査を行いました。



西脇市の自治基本条例を調査

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。

今回は、昨年度の総務文教常任委員会の概要を掲載します。

上程され、可決されました。条例制定に向け、市民が参画して、原案が検討・作成され、条文は一般の市民にも非常に分かりやすく、内容が自らのものと感じられ、今後の同市の地方自治のすばらしい発展・方向を示すものとして評価できました。

海南市では、**南海トラフ地震に備えた強靱化地域計画**について調査しました。

南海トラフ地震が発生した場合、大規模な津波による災害などが危惧され、国土強靱化地域計画を策定し、大地震を想定した避難訓練なども全市民を対象に年一度開催されており、ハード・ソフト両面にわたり、また行政・企業・市民の組織・連携・協力に至るまで非常に細やかなところまで施策化されていて、学ぶべき点が大変多いものと感じられました。

高松市では、**不登校Q&A**を

テーマに調査しました。

不登校対策の一つとしてQ&A本を作成、教員間の課題の共通理解を促し、学校としての組織的な対応を図り、子どもたちのことを心配し、共通の目的を持ち、いたわり指導する細やかな心遣いが感じられました。不登校児童生徒に対する愛情・真剣・熱意がこの冊子に感じられ、多くの方にこの冊子を読んでほしいと思いました。



海南市役所前にて

次回定例会の日程

次回定例会は、12月1日（火）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

9月定例会も閉会し、GOTOトラベルで賑わいを取り戻した仲秋、やはり気になるのが新型コロナウイルスの猛威です。9月24日現在、世界での感染者数3,178万人、死者数97万5千人。我が国では、10月からは入国規制も緩和され、経済優先の度が増すようです。本誌が発行される晩秋にはどんな状態となっているか憂慮されるところです。

6年も掛けて小惑星から物体を持ち帰る「はやぶさ2」に象徴されるように科学が発達した現代にあっても、人類は弱いものなのだ、と改めて認識させられます。

さて、9月定例会では、決算審査のほか、専決処分報告や補正予算を審議しましたが、議案の多くがコロナ対策関連でした。しかし、最善のコロナ対策は、自己防衛。3密を避け、危うきに近寄らず、身を守りましょう。

編集委員 高山 敏也